

美樂舎

B i G a K u S Y a
Newsletter

No. 291

会報 第291号(平成28年1月発行)

東京都中央区銀座1-13-4 大和銀座ビル6F
K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004

Mail kgallery@eagle.ocn.ne.jp HP <http://bigakusya.com>

第315回(12月)例会

高田寿八郎氏 講演

「ニューヨークとアートと僕」

2015年12月13日(日)

参加者: 会員他14名

会場: TS4312



【幹事報告 片岡靖雄】

<高田氏講演要旨>

冒頭から「日本の美術はニューヨークの60年遅れ」との話があり、美樂舎会員の面々に少なからず驚きを与えたようである。イーゼルペインティングが皆無であり平面絵画はほとんど問題にされないニューヨーク事情にまず驚いたとの話からスタートした。

○ 主な略歴

高田寿八郎氏は日本のデザイン界の祖であり、芸大教授でもあった高田正二郎氏の息子であり、

現在放送大学で、現代美術概説を講義している。東京芸大美術学部・大学院卒業後マックス・ベックマン奨学金を取得し、ブルックリンミュージアムアートスクールに入学し、以後28年間米国に居住した。

○ ニューヨークのアート事情

何故ニューヨークに行ったかですが、芸大教授の父高田正二郎が言う「日本のアートは60年遅れ」を実体験したい為や、美術手帳の記者などが言う話のいい加減さに失望したことが主な理由でした。

○ 日本とニューヨークアートの違い

日本とアメリカのアート事情については、帰国後「美術家連盟ニュース」に3回に分け連載し、現在放送大学で「美術概論」を講義している。又絵画を自ら描く立場なので、美術史家とは観る勸点が違うと思われる。